



Title	井元秀剛先生のご退職に寄せて
Author(s)	高橋, 克欣
Citation	Gallia. 2026, 65, p. 108-108
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104485
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

井元秀剛先生のご退職に寄せて

高橋 克欣

私がはじめて井元先生にお会いしたのは、20 年以上前のことでした。関西フランス語研究会の例会で、どのようなテーマの発表に対しても常に鋭く的確なご指摘やご質問をなさる井元先生のお姿に接し、当時大学院生だった私は深い感銘を受けました。

学生時代は主に学会の場で井元先生にお世話になりましたが、中でも 2012 年秋に神戸大学で開催され、研究発表の司会をしていただいた日本フランス語フランス文学会の全国大会でのことがとくに印象に残っています。私の心中をお察しくださったのでしょうか、井元先生は会場へ向かう駅のホームでさりげなく私にお声がけくださいました。そして会場に到着する頃には緊張感も和らぎ、無事に研究発表を終えることができました。

井元先生のご研究のテーマは実に多岐にわたっていますが、私自身が関心を持っていることもあり、テンス・アスペクト・モダリティ研究に関する素晴らしいご著書やご論文からはとりわけ多くのことを学ばせていただきました。また学生時代には、今度いっしょに共同研究をしましょうと流麗な行書で認められたお手紙が添えられたご論文をご恵贈いただいたこともあり、大いに感激したことが忘れられません。折にふれて井元先生から直々に研究に関するご助言をいただけたことも感謝の念に堪えません。

こうして私は、学生時代より理想的な憧れの研究者として井元先生のお姿を常々仰ぎ見てまいりました。井元先生とごいっしょにお仕事することなど願ってもかなわぬ夢と思っていましたが、幸運なことにご縁があり 2018 年度から言文の一員に加えていただいたときには、まさに夢がかなった思いがしました。

大阪大学では学内業務や授業等についていろいろと教えていただき、しばしば相談にも乗っていただきました。それ以外にも、組合活動や芸術鑑賞など井元先生との感慨深い思い出の数々は枚挙に暇がありませんが、それらは人間味溢れる魅力的なお姿とともに深く記憶に刻まれています。常に前向きな井元先生の周りには人々が集まり、その場はいつも明るく楽しい雰囲気になっています。

今春からは職場で井元先生にお会いできなくなるのが寂しくて残念でなりませんが、今後も多彩な舞台でますますご活躍されますことを心よりお祈りいたします。

井元先生、今まで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い申し上げます。

(大阪大学)